



町長室から 梅田 穰

新型コロナウイルス

感染症の感染拡大の勢いが止まりません。中国の武漢市にて発生して以来、急速に世界中に拡大しています。御船保健所管内で患者が発生したとの報を受け、山都町でも早速対策会議を開催し感染防止に向けて防災無線、ホームページ等を使い、各自治振興区、学校、保育園、各種団体の方へ、手洗い・うがい・マスクの着用等の感染防止対策をお願いしました。

ています。

3月はじめに国土交通省より九州中央自動車道「蘇陽」五ヶ瀬東一間の20年度新規事業化へ向けて大きく前進したとの報告がありました。熊本・宮崎の県境が結ばれることにより全線開通へ向けて大きく前進するものと思います。今後とも矢部IC(仮称)までの早期開通と、矢部・蘇陽間の計画段階評価から事業化への実現に向けて町・県挙げて取組みます。

政府は3月2日より小・中学校、高校の一斉休校を決定し、大規模集会や屋内でのイベントの中止・自粛などを国民に呼びかけ協力をお願いしています。本町としても3月に実施予定だったイベント・行事等の延期や中止を決定し感染拡大防止に努めております。町内多くの施設・店舗等で予約のキャンセルが相次ぎ、観光客や利用者の数も減少しており、今後経済への大きな影響が心配されるところです。早急に商工会・観光協会・各種団体・町議会等と協議を進め、対策を講じなければと思っ

2月23日に矢部中3年の村上直弥君の報告会が開催されました。県中学陸上大会3千メートル優勝、全国都道府県対抗男子駅伝大会6区を走り区間9位でチームの7位入賞に貢献し、2月9日第46回熊日駅伝大会では11区を区間新記録で走り上益城郡の6位入賞の原動力となる活躍でした。村山監督ももっと伸びる可能性を持った選手だと太鼓判を押しておられます。村上君には今後、高校、大学と身体を大切に、全国大会、箱根駅伝等を目標に頑張ってほしいと期待しています。

農業コンクールにて受賞！

1月30日(木)に熊本市のホテル熊本テルサにて、「令和元年度熊本県農業コンクール大会表彰式」が開催されました。本大会は、自らの農業経営・技術の改善に積極的に取り組む県内の優秀な農業経営者や集団を表彰し、県民の農業への理解促進を図り、農業・農村の振興に寄与する目的で開催されています。

今年度、本町からは2組が受賞され、藤本光希さん・藤本史代さん夫妻が、「新人王部門」にて特別賞を受賞。藤本さんは、ご自身の就農を機に夏秋トマトへ経営を転換。各研修会に積極的に参加し、先進技術の取入れや栽培技術の改善により就農5年目に部会トップ5の単収を達成した点などが評価され、今回の受賞につながりました。また、東竹原自治振興区が「地域農力部門」にて優良賞を受賞。東竹原自治振興区は、幻の大豆「みさを大豆」の継承活動の中で、中学校給食への食材提供、収穫祭や味噌づくりなどのイベントを開催し栽培・普及に取り組んでいる点や、夜神楽、田植え祭りなどの伝統活動の継承を行っている点が評価され、今回の受賞へとつながりました。

